



古志原小だより

令和8年1月19日
その9 文責：校長 岩井

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

1月6日に、大変大きな地震があり心配しました。学校ではガラスが割れるなど被害がありましたが、職員で応急処置を行った後、市教委、建築の専門家の方々に校舎点検をしていただきました。関係の業者さんにも修繕について素早い対応をしていただき始業式を迎えることができました。地震が発生した時の対応について、頭を守ること、指示を聞くこと、建物から避難すること、道路ではブロック塀など危険なところから離れる等、始業式の中で身を守るために大事なことを生徒指導主任より子どもたちに伝えました。まだ不安を抱えている子どもたちの心にこれまで以上に気を配りながら3学期、子どもたちが安心して過ごせるよう努めてまいりますので、どうかよろしくお願ひします。

3学期スタートにあたり～始業式の話より

3学期スタートにあたり、始業式で校長より以下のような話をさせていただきました。

① ○年生○学期(ゼロ学期)

○年生の3学期は、それぞれの学年において、まとめになる大事な時間となります。しっかりと学習の復習をしたり、自分を振り返ったりして、自分自身の成長を確認して次のステップへ高まることが出来るようになります。同時に、3学期は、次の学年の0学期になります。6年生は卒業、中学校進学という人生の節目を迎えます。また1年生は今まで一番下の学年でしたが、今度は後輩が入学して先輩となります。2年生は3年生以下のリーダーに、3年生は中学年としてまとめの学年に、4年生は高学年の仲間入り、そして5年生は最上級生となります。自分が進学、進級した時に、こんなことを頑張る、こんな自分になるというイメージをもちながら過ごせたらよいのかと思います。

② めあてを持ち、続けてコツコツがんばる。

2学期の終業式の時、「新年の決意」「めあてを持とう」「一日で終わるのではなく続けてがんばることができるような取組があったらいい」という話をしました。ここで1日10分の価値について話をします。

例えば、なにかを毎日10分ずつ続けてがんばると・・・

$$10\text{分} \times 365\text{日} = 3650\text{分} \quad 3650\text{分} \div 60\text{分} = 60.8333\cdots\text{時間 約61時間}$$

毎日10分続けるということは、1年間でおよそ61時間続けることと同じ時間になります。毎日1時間61日間続けるのと同じ価値になります。(ちなみに3学期は6年生が46回の登校、5年生は50回の登校、1から4年生は49回の登校ですので、61日間という時間は3学期の登校日数を超える時間になります)。わずか10分ですが、毎日続けてコツコツがんばることの意味を考えながら過ごしてほしいと思います。

③ 命を守る

「命を守る」、一番大事なことです。交通ルールを守る、水辺の事故に気をつける、出かける時には家族に行先や帰る時刻をきちんと伝えるなど、命を守るために心に置かなければいけないこと、考えないといけないことがたくさんあります。

「危険を予測する」し「危険を回避できる力」をつけてほしいと思います。また今まで行ってきた避難訓練、防犯訓練で学んだ大事なこと(地震の時には頭を守る、ガラスから離れる、指示をきちんと聞く、防犯で「いかのおすし」など)を心に留めながら過ごしましょう。



50周年記念キャラクターの名前決定！

2学期の古志原っ子発表会で、古志原小学校50周年記念キャラクターの紹介がありました。その後、6年生に名前を募った後、決定いたしました。

「はら丸」です。これで、古志原小の素敵なキャラクターに素敵な名前がつけられ完成しました。発表は2学期終業式に、犬山50周年記念実行委員長をはじめ実行委員の皆様にご参加いただき、子どもたちに楽しくご紹介いただきました。お世話になりました。

